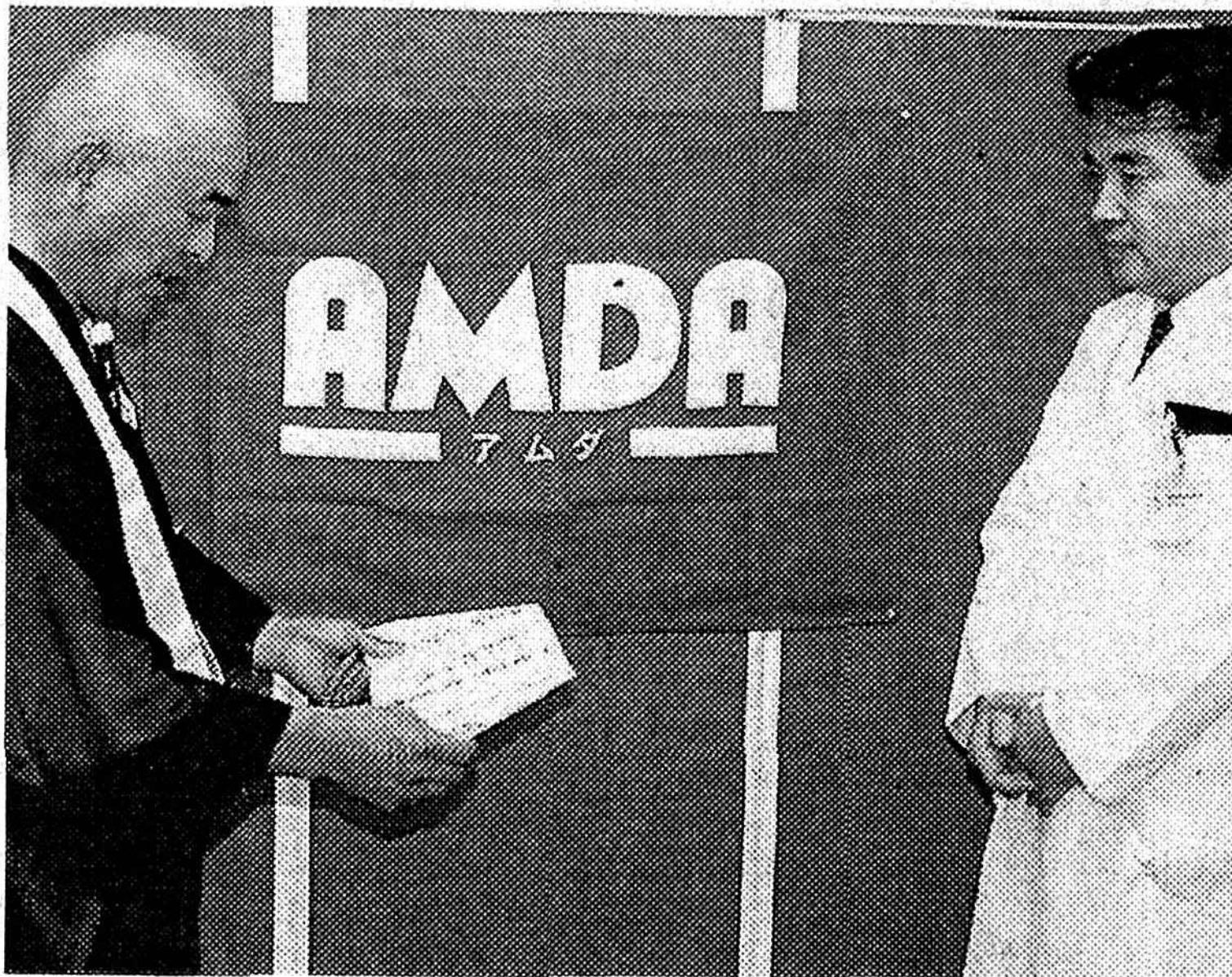


AMDAに400万円支援金

天台宗、インドネシア地震で



天台宗—総本山・比叡山延暦寺（大津市）—の僧侶3人が8日、国際医療援助団体「AMDA」（本部・岡山市櫛津）を訪れ、インドネシア・ジャワ島中部地震（5月27日）への支援金400万円を寄贈した。

同宗は開祖・最澄の教えに倣い「一隅を照らす運動」を実施。日本赤十字社への寄付や、インドの孤児院・学校支援などを続けている。AMDAへの寄付は初めてで、県内の同宗関係者が紹介した。

同運動総本部長の秋

吉文隆参務は「AMDAの活躍を聞き、寄付を決めた。息の長い活動をして下さい」とあいさつ。

菅波茂代表は「天台宗の支援は心強い。保健所などの建設に役立てたい」と話していた。

【傳田賢史】